



鈴木 勢子
議員
児童虐待と育児放棄の実情は

児童虐待防止推進月間の取り組みは

質問

毎年11月は厚生労働省の「児童虐待防止推進月間」だが、当市での取り組みは
何う。

また、児童虐待と育児放棄の市内の実情を把握しているのか。児童民生委員の早期発見への努力義務と関係機関との連携について何う。

教育長答弁

「児童虐待防止推進月間」の取り組みは、各公共施設へ



高澤 公
議員
能生温泉センターの今後は

地域住民にとって憩いの場である能生温泉センターは

質問

能生温泉センターは、その廃止も含めて存続のあり方を
研究中だが、地域住民には毎

日の憩いの場、地域コミュニティ
ケーションの場であり、市が
方向転換をしようとするその
根本の理念、考え方を何う。

市長答弁

温泉センターと権現荘の日
帰り入浴客数が近年大幅に落
ち込んでいることと、老朽化

のポスターの掲示、リーフレ
ットの配布、おしらせばんで
の周知である。

児童虐待などの、市内での
実情は、各園・各校からの通
報や児童相談員等への相談に
より把握している。

また、相談員を中心として
ケース会議や実務者会議を開
催し連携を図るとともに、
各園・各学校での子ども
様子、健診等での確認によ
り、早期発見に努めている。



した施設の更新費用等を削減
するため、日帰り入浴客の
受入れを権現荘に一本化し
たい。

また、健康増進やコミュニ
ティ施設として果たしてきた
役割は、権現荘においても十
分果たせるものと考えてる。

なお、民間への無償譲渡に
ついては検討しており、現
在、譲渡条件等について、
国県との協議を進めている。



「環境基本計画」は

質問

平成31年までを目標とした
「環境基本計画」の策定に不備
はないか。市民への計画の周
知と、着実な推進体制はどの
ように図っているのか。
また、ゴミ減量対策に向け
ての取り組みを何う。

市長答弁

環境基本計画は、平成20
年度から2か年にわたり、
多くの方々が審議し、計画
を策定しているので、不備

**安易にコンサルタント
を利用しては**

質問

市での平成20・21・22年度
のコンサルタント会社利用回
数と費用、会社が出した回答
とその応用、利用の成果につ
いて何う。

また、企画、立案ができる
職員が望まれるが、雇用や職
員育成はどうなのか何う。

市長答弁

コンサルタント会社の利用
は、計画策定等の業務委託料

は無いと考えているが、必要
に応じて見直しに努める。

市民へは広報紙や市のホー
ムページ等で内容を紹介する
とともに、進行計画表に基づ
き、着実に推進に努めていく。

ゴミ減量対策は、現在、
作成中のごみ処理基本計画
をもとに、ゴミ減量対策を
推進していく。

《その他質問項目》

- ・米粉の普及と食料自給率アップ
- ・「烏帽子の里」の火災と施設管理

として、20年度は4件で約970
万円、21年度は2件で約600万
円、22年度は8月末現在で4
件の約1670万円である。

コンサルタント会社が策定
した計画書等を通して、業務
に関する問題提起や分析など
に活用し、施策を実施している。

職員採用は、行政職員とし
ての資質と意気込みがある人
材の採用に努めている。採用
後も研修会などに参加させ、
能力開発に力を入れている。

人材育成は、分野ごとの専門
研修や企画・立案などの研修
を受講させることによって、
能力向上に努めている。